

薬物速度論

[講義] 第3学年 後期 必修 1単位

【概要】

近年、患者の薬物血中濃度を速度論的に解析することで、患者一人一人について最適な薬物投与計画を立てる試みが行われつつある。この目的に沿って、薬物動態学(Pharmacokinetics)と呼ばれる学問が発達してきた。薬物動態学は、薬物療法の効果を最大にするために、血中薬物濃度から得られる情報をもとに個々の患者に対して最適な薬の投与方法(投与経路、投与量、投与間隔)を科学的に設定することを目的とする。そのためには、薬物の体内動態(吸収、分布、代謝、排泄)の速度論的解析とそれに基づく薬物投与計画法の知識が必要となる。本講義では、薬効や副作用を体内の薬物動態から定量的に理解できるようになるため、薬物動態の理論的解析に関する基本的知識と技能を修得する。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による